

## 「こうすれば救われる」

列王記第二 5章 1~12節

### はじめに

「こうすれば救われる」。今朝は、このテーマを旧約聖書に出てくるナアマンという人を例に取り上げて考えてみましょう。

時は今から2860年ほど前です。聖書の舞台であるユダヤの国は、北のイスラエルと南のユダに分裂していました。南のユダは、先祖からの真の神に従っていましたが、北のイスラエルの王たちは、先祖代々信じて神を捨て、異国の神を持ち込み、その神を礼拝することを民に求めました。しかし、神はエリヤ、エリシャなどの預言者を北のイスラエルに送り、真の神を伝え、民を偶像礼拝から守ろうとしました。

### 1. ナアマンの悩み

その預言者エリシャの時代に、隣国アラムに、王に仕えるナアマンという人がいました。彼は將軍で、王に重んじられ、人々から尊敬されるアラムの英雄でした。しかし、この彼に大きな悩みがありました。それは「ツアラアト（重い皮膚病）」にかかっていたのです。地位も名譽もお金もある、何不自由のない人でしたが、いま病に苦しみ、悩んでいました。

**適用：**人には、だれでも悩みがあります。どんなに地位や名譽やお金のある人でも悩みがあります。そして、どうしたら、そこから救われるかを願うものです。

### 2. ナアマンの救い

#### (1) そこにいた若いイスラエルの女奴隸の勧め (2-3)。

ナアマンの家には、彼の妻に仕える若い女奴隸がいました。彼女は、イスラエルから略奪されて、連れてこられていました。彼女は信仰の篤い、心の優しい女性でした。彼女は、ご主人であるナアマンが苦しむのを見かねて、奥さんに言いました。「もし、ご主人様が（彼女の故国）サマリヤにいる預言者の所に行かれたら、きっと、あの方がご主人様のツアラアトを治してくださるでしょう」。

**適用：**神様はナアマンを救うために、一人の少女を用意しておられました。かつてアブラハムの孫、ヤコブとその家族が食料難で苦しみ、エジプトに助けを求めていました。その時、彼らを助けたのが、かつて兄弟たちにエジプトに売り飛ばされたヨセフでした。彼はその時、エジプトで王に次ぐ権力者にな

っていました。自分たちが助けを求めた相手が、かつて自分たちが売り飛ばしたヨセフだと知って、兄弟たちは震えあがりました。その時、ヨセフはこう言いました。「今、私をここに売ったことで心を痛めたり、怒ったりしてはなりません。神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わしてくださったのです」（創世記 45:5）。

神様は、ナアマンを救うために、略奪という形でしたが、イスラエルにいた信仰深い少女をナアマンの家に遣わしておいでになったのです。

神様は、私たちを助けるために、数々の配慮をしてくださいます。これを神の摂理（Providense）と言います。あなたの家族の救いのために、まずあなたを救って、その家に遣わしておいでになるではありませんか。

## （2）エリシャとの出会い（4-10）。

ナアマンは自分の仕える王に相談すると、王はイスラエルの王に手紙を書いてくれました。ナアマンは、銀 340 キロ、金 60 キロ、晴れ着 10 着というたいへんな贈り物を持って出かけました。イスラエル王は、アラムの王が自分にナアマンの病を治せと言ってきたと誤解して悩んでいると、預言者エリシャは王に「その男を私の所によこしてください。彼はイスラエルに預言者がいることを知るでしょう」と言いました。

こうしてナアマンは、たくさんの贈り物を携えて、エリシャの家の入り口に立ちました。エリシャは使いをやって、「ヨルダン川へ行って七回あなたの身を洗いなさい。そうすればあなたからだが元どおりになってきよくなります」と言いました（8-10）。

すると、ナアマンは激しく怒って言いました。「何ということだ。私は彼がきっと出てきて、立ち、彼の神、主の名を呼んで、この患部の上で手を動かし、ツラアトに冒された者を治してくれると思っていた。ダマスコの川、アマナやパルラルは、イスラエルのすべての川にまさっているではないか。これらの川で身を洗って、私がきよくなれというのか」と憤ってその場を去ろうとしました（11-12）。

そのとき、ナアマンのしもべたちが言いました。「わが父よ。難しいことをあの預言者があなたに命じたとしたら、あなたはきっとそれをなさったではありませんか。あの人は、『身を洗ってきよくなりなさい』と言っただけではありませんか」（13）。

**適用：**ナアマンは愚かにも、「あなたのからだは元どおりになって、きよくなります」というエリシャの約束には目を留めず、エリシャの態度とその方法に腹を立てたのです。

私たちも、エリシャのように、愚かな間違いをすることがないでしょうか。こうすれば、救われるに違いないと自分で勝っ手に決めてしまうのです。立派な教会とか、力ある牧師とか、洗礼の方法とか、特別な祈りとか。そのような

方法によって救われると思ってしまうことがあります。

### (3) ナアマン癒やされる (14) 。

「そこで、ナアマンは下って行き、神の人の言ったとおりに、ヨルダン川に七回身を浸した。すると彼のからだは元どおりになって、幼児のからだのようになり、きよくなつた」のです (14) 。

ここから教えられることは何でしょうか。それは、神が私たちに求めておいでになるのは、素直に神様のみことばを信じてそれに従うことだということです。七回ですから、1回目も2回目も、6回目でも何も起きました。言われたとおり7回目に奇跡は起きたのです。神のことばは、その通りに最後まで行なうことが大切です。

## 3. 癒やしの結果

ナアマンは病を癒やされただけではありませんでした。ナアマンはその一行の者すべてを連れてエリシャの所に戻って来て、言いました。「私は今、イスラエルのほか、全世界のどこにも神はおられないことを知りました」と (15) 。なんとアラムの王に次ぐ人物が、真の神を知ったのです。これによって、アラムに真の神が伝わることになりました

**適用**：私たちはどうすれば救われるのでしょうか。実は、難しいことではないのです。ナアマンのように、神様のみことばを素直に受け入れ、信じることです。

神様は今、救いを求める人に何と言われているでしょうか。それは「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」です (使徒 16:31) 。

なぜ、「主イエスを信じなさい」言われているのでしょうか。それは、主イエスが私たちの罪を負って十字架で死に、神に私たちの罪を償い、三日目に復活して、天に帰り、いま私たちの救い主となっておられるからです。すでに、私たちを救う救い主はおいでになりました。そして私たちは、自分のこれまでのすべての罪を赦していただき、真の神様に出会い、真の神様を知り、救い、助けて頂けるようになったのです。だから、「主イエスを信じなさい」と言われているのです。

大切なことは、ナアマンのように、最後は素直になって、神のみことばを信じ、受け入れることです。そうすれば、あなたは救われます。

ですから、いま、あなたはこの場で救われるのです。主イエスを信じればよいのです。まだ十分に主イエスのことを知らないかもしれません。ただ、あなたが主イエスがあなたのためになさったことを信じさえすれば、あなたは救われるのです。あなたが救われたら、家族にも福音が伝わり、救われます。

聖書が私たちに求めているのは、

- 1 神様がおられて、求める者には必ず応えてくださると信じること。
- 2 自分が神様に罪を犯していることを認めること。
- 3 イエス様が私たちの罪の身代わりとなって十字架にかかり死んでくださったこと、そして復活して、生きた救い主として私を迎えてくださることを信じること。
- 4 イエス様を信じるだけで、自分の罪が赦され、神様の子どもとして受け入れられることを信じること。

## 招きのことば

イエス様は、あなたの罪を赦すために、十字架におかかりになりました。あなたの罪を赦し、あなたが天国に行けるようになってほしいのです。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」（第一ヨハネ 4:10）

「見よ。わたしは戸のそとにたって叩く。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示録 3:20）

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」  
(使徒 16:31)

## 祈り

父なる神様。あなたの御子イエス・キリストを感謝します。

私はあなたに罪を犯してきました。地獄に投げ込まれても当然な人間です。

しかし、イエス様は、私の罪のために十字架にかかり、私のために死んで復活してくださいました。

あなたは、私のすべての罪を赦してくださいと言われました。感謝します。

私は、いま、イエス・キリストを私の救い主、私の神として信じ、受け入れます。

あなたは、私をあなたの子として受け入れてくださり、私を新しく生まれさせてくださることを感謝します。

今日からあなたに従っていきます。どうぞ、弱い私を導いてください。

イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。